加津佐小学校　学校だより№43

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月30日　校長：山下泰樹

教室は　まちがうところだ

左記の詩も、保健室の仕事をサポートしてくださる平山智恵美先生にプレゼントしていただいたもので、児童玄関付近に掲示しています。

前号で記した「学びに向かう力」の一つが「自主性」です。
「失敗は成功のもと！」
間違ってもいい。自分の考えを進んで伝えようとする場を加津佐小学校ではたくさんつくっていきます。子供たちの「自芯」を育んでいきます。それが、予測困難な未来をたくましくしなやかに生き抜く力となります。

かっつぁの宝　よかとこばい⑲　～両子（ふたご）岩の秘密～

島原半島のジオとして有名な観光資源は「両子岩」です。みなさんもよくご存じかと思います。しかし、海岸に降りてみると、たくさんの秘密を発見することができます。

①崩れた岩がそのまま残っている！
- 昔は、その名の通り「ふたご岩」でした。しかし、1922年(ちょうど100年前)に起きた大地震（M7）、長い間受け続けた波圧の影響により、真ん中の岩が崩れてしまったのです。近づいてみると、もともと岩が立っていた跡がえぐられており、側には崩れた岩が塊となって落ちています。

②岩がモルタルで固められている！
- 現在残っている岩を崩すことなく維持できるように、下部はモルタルで固めてあります。この補強工事は、2017年（今から５年前）に行われたそうです。

③岩の模様を楽しめる！
- 岩に生えた松の木ばかりに目が行きがちですが、斑晶や浸食穴など岩の模様も楽しめます。岩肌に触れてみるのもいいですね。

「モアイ像」「岸信介（安倍元総理の祖父）岩」と呼ばれ親しまれてきた加津佐の宝！

加津佐小学校　学校だよりNo.42

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月26日　校長：山下泰樹

「続けることで大成功！」

学習指導要領には「児童に身に付けさせたい資質能力」として「学びに向かう力」と記されています。「学びに向かう力」とは、「自主性」「ねばり強さ」「調整力」と捉えられます。

左が、校長室横に掲示しているものです。「自分で決めたことをねばり強く毎日少しずつ」簡単そうで難しいことです。しかし、「続ける」からこそ「成功」へと繋がるのです！

教育実習生がやってきた！　福田航平(こうへい)先生

元気ハツラツの教育実習生がやってきました。大阪体育大学４年生：福田航平（こうへい）さんです。小学校の教員をめざし、本校で４週間学びます。

３年生を中心に全学年に関わっていただきます。全校集会で紹介し、クイズで親しんだ後、走力自慢のかづさっ子と対決！「びゅんびゅん！」と風を切って走る航平先生の姿に子供たちは大歓声をあげていました。

本人にとっても子供たちにとっても思い出に残るステキな４週間になることと思います。わくわくです！

かっつぁの宝　よかとこばい⑱　～雲仙館の紙粘土人形～

先日、地域を回っている際、「かっつぁの宝」情報を入手したので、その場所を訪ねてみました。

そこは、前浜海水浴場近くの「雲仙館」。玄関に入ってみると、目の前に宝が・・・。紙粘土で作られたステキな作品が展示してありました。事情を説明すると、中に案内されました。すると、たくさんの作品が飾られていました。作品のクオリティの高さに感動！

製作者は、旅館の女将：林田裕子（ゆうこ）さん。これまで、福岡市・長崎市などで作品展を開催されたとのこと。「かっつぁの宝」大発見です！

「こんなに細やかで愛らしい作品をかづさっ子に見せたい！地域の方にも見ていただきたい！」

と思い交渉してみると、学校での展示について快諾いただきました。

10月から「林田裕子さんの紙粘土人形展」を中央玄関前で開催します！10作品ずつ展示し、毎月入れ替えることになりました。ぜひご覧ください。

また、雲仙館での作品鑑賞もできます。学校には展示できない大きな作品や壁掛けあり。親子で来館ください。

加津佐の伝統芸能「棒踊り」！
表情豊かな作品です。

雲仙館に作品が飾られています。

加津佐小学校　学校だより№41

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月22日　校長：山下泰樹

「防災」について専門家から学びました！

４年生は、社会科で水害から身を守る取組を調べています。
そこで、14日「岩盤調査・のり面施工」の専門家：荒木桂太さん・前川伸吾さんをゲストティーチャーとして招聘。がけ崩れが起きないように斜面をコンクリート化したり、地下水を抜いたり、落石を受け止めるネットを張ったりするなどの仕事について実際に撮影された写真・動画を活用しながら、分かりやすく説明していただきました。また、地下から掘り出した泥岩や機器にもふれさせていただきました。「その道のプロ」ならではの貴重な学びができました。大感謝です！
15日には全校集会を開き、大野木場小学校被災について校長講話を行い、防災への意識を高めました。

遠距離を正確に測る機器を全員覗きました。

ボーリングで採取した泥岩に触らせていただきました。校舎内にサンプル展示中！

一人ひとりの疑問にていねいに答えてくださいました。

かっつぁの宝　よかとこばい⑪　～円通寺山門の礎石（そせき）～

愛宕団地付近には、今から664年前（1358年）に、大智禅師（だいちぜんじ：領主有馬氏によって加津佐に招かれる前は、鎌倉・京都・石川・中国・熊本で修行・活躍したお坊さん）が建てた「水月山円通寺」の跡が残っています。この寺には、当時1500人ものお坊さんが暮らしていたそうです。それだけ敷地（約10ha：愛宕団地から土瀬戸付近までの水月地区）が広く、お堂や宿舎が建ち並んでいたと想像できます。
そこには、五角形の大きな石があります。これは、門柱の礎石（土台になる石）です。測ってみると、直径が１mもありました。自然石で、中央部分が削られていて重厚感があり、円通寺の壮大さを物語っています。そんな円通寺ですが、有馬晴信氏が1580年にキリスト教に改宗したことから廃されました。
森の中にある礎石は、当時を偲ばせる宝です。
現在、隣には大きなクスノキがあり、奥には趣のある神社が建てられています。

加津佐小学校　学校だより№40

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月20日　校長：山下泰樹

加津佐自慢　おいしいじゃがいもについて　学びました！

「街の自慢は何ですか？」
７月、かづさっ子にアンケートを取りました。得票数第４位は「畑・山がきれい！」第5位は「おいしい野菜」という結果でした。３年生は、社会科で「農家の仕事」について学習しています。そこで、9/15ゲストティーチャーとして、農業を営んでいらっしゃる渡部賢吾さん（現教護部部長）が来校。じゃがいもの品種、収穫までの工夫や苦労などじゃがいも作りついて子供たちの質問に答えてくださいました。大感謝です!

ありがとう！かづさっ子サポーター⑦　松尾文義さん 俣木優さん

社会教育指導員として加津佐公民館に勤務され、青少協・子供会運営、寺子屋・学習教室・スポーツ教室・弁論大会・通学合宿の企画など、子供たちの健全育成に尽力されている方々です。長い間、社会体育の指導にも貢献されています。

子供たちが、年々落ち着いてきていると感じます。絵画教室や書道教室など一生懸命に取り組む姿に感心しています。
今の自分に満足せず、もうちょっと我慢してがんばれば、違う景色が見られるはず。ねばり強く努力を続けてほしいです。応援しています！

かっつぁの宝　よかとこばい⑯　～赤い屋根のふるさと交流館～

旧山口小学校は、「赤い屋根のふるさと交流館」として生まれ変わっています。
（ICT支援員としてお世話になっている地域商社「ミナサポ」の梅野さんが管理）
５月、３年生が「茶揉み」「茶炒り」を体験したのもここです。グラウンドの周りには、山口地区の伝統であるお茶が昔から植えられており、毎年手入れをし、茶葉を摘んでいます。閉校前は、子供たちがお世話をしていたそうです。
グラウンドには、ブランコなど当時の遊具が残されており、新しく「ツリーハウス」も設置され、わくわくする場所「かっつぁの宝」となっています。

加津佐小学校　学校だより№39

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月16日　校長：山下泰樹

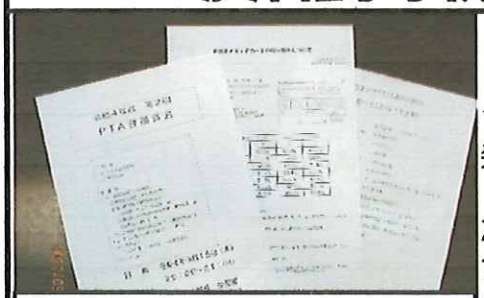
かわいいお客さま！

先週末、若木保育園から園児が来校し、夏休み作品展を観覧しました。作品に対して感嘆の声をあげる園児たちを優しく見守るかづさっ子の姿が微笑ましかったです。コロナ禍でなかなか幼保小連携での活動が仕組めないので、このような形で遠慮なくご来校いただけるとありがたいです。卒園児童も喜びます。

また、民生委員様など地域の方にもご観覧いただき感謝です。今後も、いつでもご来校され、かづさっ子の「本気」で「えがお」でやるときゃやる姿をご覧ください。

加津佐小学校は、地域の方々が「いつでも寄りたくなる学校」をめざしています。

加津佐小学校10周年記念イベントに向けて



夏休みメディアカードへの取組考察等、後日配付されますので、ご覧ください。

昨日、第2回評議員会が開かれました。

PTA会長より、「次年度秋以降に、『加津佐小学校10周年記念イベント』を開催したい。」という力強い発表がありました。

学校側といたしましても、子供たちの意見を吸い上げながら、より良いイベントの実現に向けて動いていきます。各地区の願いを活かしながら、PTA・地域と連携していきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。少しずつ盛り上がっていきましょう！

かっつぁの宝　よかとこばい⑮　～キリシタンのお墓（後編）～

第36号で紹介した野田浜の遊歩道を歩くと、キリシタンのお墓を２基認めることができます。秀吉又は家康の時代に造られたもので、形状は扁平な板状ですが、ていねいに整形されています。正面には「花十字紋」の輪郭が刻まれているのが、はっきりと分かります。２基ともに「長崎県史跡」に指定されています。

夏休みに歩いてみると、夏でも涼しく、投げ釣りやウォーキングを楽しんでいる方々と出会いました。

400年以上前の花紋

加津佐小学校　学校だより№38

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月13日　校長：山下泰樹

ゲストティーチャーによる学びで心を育てています！

6年生いのちの学習

加津佐小学校では、地域の方や外部機関から講師を招聘して、専門的な視点から子供たちの心を育てています。先週は、保健室のサポーター平山智恵美先生による「いのちの学習」、市メディア指導員：成末桂子さんによる「メディア学習」で、親子一緒に学ぶ機会を持ちました。

5年生メディア学習

加津佐版サスケ　始動！

かづさっ子は、外遊びが大好きです。朝や昼休みに、異学年で仲良く遊んでいます。運動能力向上のため２年前に設置された「加津佐版サスケ」にチャレンジする姿もたくさん見られます。だから、体力テストの結果も良好です。

そのサスケが、この度リニューアルされました。主任の菅先生を中心に体育部で企画してくださったのです。9日、たてわり班毎に各種目へのチャレンジタイムを設けました。加津佐小学校では、場の工夫で体力をより高めていきます。

ぶら下がったペットボトルに向けてジャンプ！

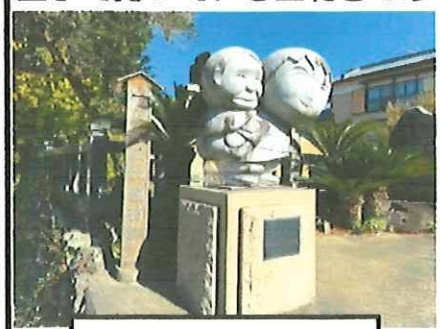
かっつぁの宝　よかとこばい⑭　～親孝行のモニュメント～

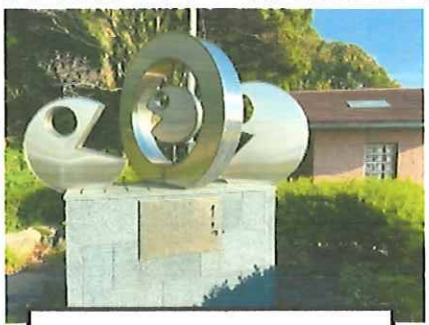
第８号で紹介した「孝子祭」は、江戸時代に親孝行が認められ、殿様から褒美をもらったと伝わっている安永安次さんの命日に、生誕の地：津波見地区で開かれています。貧しい暮らしの中にあっても、親孝行を尽くし、社会的責任を果たすなど地区の模範となった安次さんの功績を称え、津波見地区に２つのモニュメントが設置されています。

１つは、旧津波見小学校体育館前の像です。お母さんをおんぶしている安次さんの表情から優しい心が伝わります。５年生が参加する「孝子祭」は、ここで開催されました。

もう１つは、R251沿いの「津波見孝子の里広場」の中に設置されています。「家族の絆と全体の和合」を表しているステキなモニュメントです。

また、その奥には、小さい「えびす様」が祀られています。鯛を右手に抱き、釣竿を左手で持っている左利きの珍しい神様です。一見の価値あり


旧津波見小前の像


広場内のモニュメント

左利きのえびす様
（ほとんど右利き）

加津佐小学校　学校だよりNo.37

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月９日　校長：山下泰樹

体で感じて　知識をゲットだぜ！～算数コーナー設置～

算数科には、「長さ」「重さ」「広さ」など様々な学習があり、いろんな単位（m・g・L・㎡等）で数量を表します。しかし、これを習得するのがなかなか難しいのです。

子供たちの理解を深め知識を習得させるために、本校職員が動きました。夏休み中、校舎内のスペースを活用し、算数コーナーを設置したのです。昨日の授業参観時に見られた方もいらっしゃったと思います。

加津佐小では、机上だけではなく、実際に体で感じながら知識の習得を図ります。休み時間になると、各コーナーに人だかりができています。

面積体感コーナー

重さ体感コーナー

単位変換階段

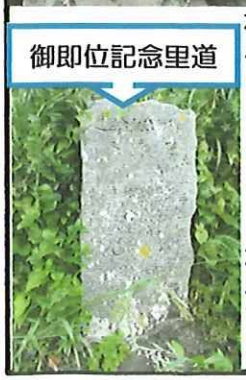
1a(10m× 10m)を体感しながらドッヂボール

かっつぁの宝　よかとこばい⑬　～キリシタンのお墓（前編）～

400年以上前に刻まれた文字！
説明板を見ると場所が分かります！

第29号で紹介した「ととん鼻」付近にある須崎墓地には、６基のキリシタンのお墓があります。その１つは、かまぼこ型で、「慶長十八年（江戸時代：1613年将軍秀忠時）」という文字が、はっきりと刻まれています。文字が風化し崩れないよう金属の蓋が被せてあります。一瞬外して撮影させていただきました。１基だけ奥にあるので、私も2年間気づきませんでした。もともとの場所から移動されていないそうで一見の価値ありです。

あとの５基は、１か所にまとめてあります。石碑が建ち、説明板もあるのですぐ分かります。５つのうち２つのお墓は、菓子箱型で、どちらも「十字」がはっきりと分かります。


御即位記念里道

また、左の石碑が、茂みの中にひっそりと建っています。「御即位記念里道　大正３年（今から108年前）改築・建設に携わった方々の名前」が刻んであります。自分の功績を声高に語らない加津佐人の心意気を感じる宝の石碑だと言われています。

石碑・説明板の後ろに
５つのお墓が隠れてます

加津佐小学校　学校だより№36

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月７日　校長：山下泰樹

創造力あふれた作品　ずらり！

昨日は、臨時休業でした。大型の台風襲来でご心配だったことと思います。

学校では、夏休み作品展を開催中です。創造力あふれる作品がたくさん展示されています。ご家庭での声かけのおかげで、一人ひとり「自分だけの夏休み」を送れたのだと感じます。ありがとうございました。

明日は授業参観です。（４年生は22日に実施）「本気」で「えがお」でやるときゃやるかづさっ子の姿と創造力あふれる作品をご覧ください。

ふれあい委員会の活動が、長崎新聞に載りました！（７月末）

地元商店主に花贈る

南島原・加津佐小

南島原市加津佐町の市立加津佐小（山下泰樹校長、133人）は「ふるさと花いっぱい運動」を展開。校内で植栽した花々を、登下校などの際に見守ってくれている地域の商店主にプレゼントしている。

サルビアやマリーゴールド、ポーチュラカの苗360本をふれあい委員会（５、６年計８人）が植栽し、毎日交代で水やりを担当した。

19日は委員会メンバーがプランターを文具店や電器店など６店舗に運搬。「大事に育てた花です。お店に飾ってください」と店主に手渡した。６年の脇田せりかさん(11)は「たくさんの苗を植えるのはきつかったけど、きれいに咲いた花で地域の方が喜んでくれるとうれしい」と喜んだ。

（西隆志）

日頃の感謝を込め地域の方々にプランターを手渡す児童
＝南島原市加津佐町

かっつぁの宝　よかとこばい⑫　～松林（前編）～

今から33年前、加津佐町木として「松」が指定されました。加津佐町の海岸線を東西に走る松林は、防風林として先人が残した大切な環境遺産だからです。

野田浜は、「日本の白砂青松100選」に選ばれるほど美しい景観です。この松を植えたのは、島原・天草一揆が起きる原因をつくった島原の殿様：松倉重政です。塩害を防ぐための松は、千々石海岸にも植えられました。農業用水の確保のために、路木にある「から池」や「諏訪の池」を整備したのも松倉氏だと言われています。暴君と評される松倉氏ですが、半島にとって役立つ事業も行っていたのです。島原に来る前、近畿地方では「名君」と呼ばれていた所以です。

松林の中には遊歩道があり、真夏でも涼しく感じられるので、地元の方々の健康増進ウォーキングコースにもなっている「かっつぁの宝」です。

加津佐小学校　学校だよりNo.35

爽風

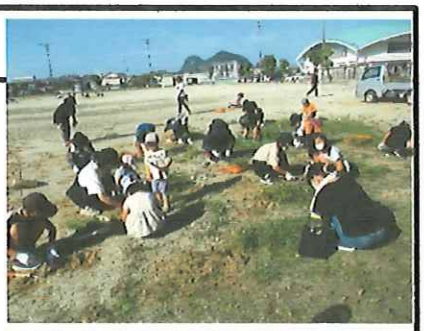
【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月２日　校長：山下泰樹

一人一台タブレット端末で　未来を切り拓こう！

国の施策である「GIGAスクール構想」によって、１～３年生分のタブレット端末が夏休み中に整備できました。いよいよ低学年も、タブレットを活用した学習を始めます。
目的は、次の２つです。
①地域や社会課題の解決　　②一人ひとりの夢の実現
そのためには、まず、タブレットに慣れ親しむことが大切です。そこで、先輩たちの出番。しばらくは、高学年の子供たちが先生となり、低学年に使い方を教えていきます。できるだけ早く自宅からリモート授業に参加できるように進めていきます。
ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。

PTA奉仕作業に大感謝！



8/28に３年ぶりのPTA奉仕作業が、晴天のもと実施されました。
１時間という短い時間でしたが、運動場・植え込みなどの草を全て取ることができました。同時に、溜まっていた草の搬出、遊具（うんてい）のさび落とし・ペンキ塗り、道路脇への除草剤散布も行いました。
中心になって企画運営していただいた教護部をはじめ本部役員の皆様、かづさっ子と共に汗を流してくださった保護者の皆様に大感謝です。ありがとうございました。
昨日から２学期が始まりましたが、スッキリと整った環境で子供たちを迎えることができました。
かづさっ子は、よく働きます。掃除もとても上手です。それは、保護者・地域の皆様の労をいとわない姿を身近に見ているからです。
今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

加津佐小学校　学校だより№34

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年９月１日　校長：山下泰樹

ぐんぐん伸びる2学期のスタート！

今日から２学期が始まりました。始業式では、自分だけの夏休みの過ごし方について振り返りをした後、２学期に取り組んでほしいことを３つ伝えました。

①「本気」で「えがお」でやるときゃやる瞬間を一つでも多くつくること
②人の役に立つことを進んですること
③「ありがとう！」を伝えて、仲間との絆を深めること

たくさんの行事・イベント・交流学習を通して、ぐんぐん伸びる学期にしていきます。

民生委員さんとの懇談会・特別支援研修会を開きました！

夏休みといっても、職員は休みではありません。市内外で開催される研修会に参加し見識を広げました。学習内容を研究したり教材を製作したりしながら、２学期に向けての力を蓄えました。職員が進化する期間なのです。

8/9には、いつもかづさっ子を見守ってくださっている民生委員さんとの懇談会を開き、子供たちの健全な成長についての情報交換を行いました。また、県立島原特別支援学校より講師をお呼びして、人権教育の基盤である特別支援教育についての知識理解を深めました。

かっつぁの宝　よかとこばい⑪　～７万本のひまわり畑～

７月末、農道沿い「大地農場」そばに、７万本のひまわりが咲き誇る場所があるという情報を受け、寄ってみました。十分綺麗でしたが、「満開は８月上旬です！」と書いてありました。植えられたのは、農場経営の渡部利徳さん。お話してみると、「毎年植えている。今年は花が小さいけれど、口コミで広まり、年々たくさんの方が訪れるようになって嬉しい。」と言われました。

８月６日に再訪してみると、遠方からの家族連れやカップルが写真を撮影されていました。満開のひまわりと白いビニルハウス・青い海と空のコントラストが絶景でした。11日に寄ってみると、駐車スペースは大渋滞。

一人の方の地道な取組と情熱が、ステキな観光資源を生み出すことを改めて感じました。

他にも、加津佐町内で綺麗なひまわり畑があると聞きます。次年度は、探し回ってみようと思います。

ちなみに、このひまわりは、咲き終わると畑にすき込むことで肥料となり、加津佐自慢の美味しいジャガイモを育む力となります。先日（29日）覗いてみると、すっかり茶色の畑に変身していました。

かわいい犬の名前は「タロウ」

加津佐小学校　学校だより№33

爽風

【学校教育目標】
力強く未来を拓き、持続可能な社会の
創り手をめざす児童の育成
【スローガン】**本気で　えがおで　やるときゃやる！**
【キーワード】　「ありがとう！」

令和４年８月９日　校長：山下泰樹

今日は、平和について考える日　～8/9平和集会～

集会の企画運営を担った４年生
原稿なしの「本気」の姿

今日は、長崎県人にとって忘れてはならない大切な「県民祈りの日」。77年前に、長崎市に原子爆弾が落とされ、多くの命が奪われた悲しい日です。

学校では、平和集会を開き、４年生がこれまでの学びを伝えました。子供たちにとって、戦時中の暮らし・原子爆弾がもたらした悲劇・廃絶できない核兵器・ウクライナ情勢等について知り、平和の尊さについて考える貴重な時間となりました。

ご家庭でも、どんなことを考えたのか話題にしていただけると学びが深まるのでよろしくお願いいたします。

ふるさとイベントもりあげ隊　出陣！　～7/16ふれあい祭り～

「待ってました！この瞬間！」輝く瞳・みなぎる力・あふれるえがお・たくさんの人出…。３年ぶりに開催された祭りを地域の方々がどれだけ楽しみにしていたか伝わりました。

「ふるさとイベント盛り上げ隊」として、加津佐小学校からは、ダンスリーダーの４年生が出陣！キレキレのダンスを披露し、個々の自芯に繋がりました。保育園・中学生の出演、抽選会もあり、盛り上がりを見せた祭りの企画・運営に携わっていただいた加津佐商工会関係等の皆様に大感謝です！

かっつぁの宝　よかとこばい⑩　～イルカ写真館～

野生のイルカが泳いでいる姿を早崎海峡で見ることができます。私も、この春、乗船する機会がありました。イルカの群れが目の前に現れると、歓声が上がり感激しました。「かづさイルカウォッチング」は口之津港ターミナルに移転されましたが、加津佐港には「海が見える街のイルカ写真館」として現在残されています。問い合わせたところ、先月オープンしたそうです。無人ですが、自由に観覧することができます。イルカの説明板、群れて泳ぐイルカの写真、砂浜で拾ったもので製作したオブジェなど、きれいに展示してありました。コーヒーも飲めるように配慮されています。

週末にでも、親子で訪れられてはいかがでしょうか。お子様が、南島原市の観光資源を直接知るチャンスにもなります。

写真館入口

※農道沿い「大地農場」そばで７万本のひまわりが咲き誇っています。見頃です！(次号で紹介)